

学年	高校 3 年	教科	英語科	科目	英語表現Ⅱ	単位数	4
教科書名		・ Revised POLESTAR English Expression Ⅱ		副教材名	・ Write to the Point (数研出版) ・ Random Challenge 600 advanced (いろいろな書店)		
コース・クラス		特進理系					

I. 目標

1. 国公立と難関私大の合格を目指し、高難度の文法・語法問題で7割以上の正解を目指す。
2. 和訳、要約、英作文の問題で7割以上の得点を目指す。

II. 授業のねらい

1. 過去問題に挑戦しながら、一般的な入試問題はもとより、難度の高い問題に対応できる文法・語法の解答力を身につけさせる。
2. ネイティブ教員と日本人教員の双方の指導により、ライティングと和訳・要約の技術を向上させ、入試問題はもとより、外部の検定試験への対策も講じる。
3. オンラインによるスピーキング演習をおこない、外部検定試験に備える。

III. 授業の進め方

1. スクランブル英文法・語法の確認テストを通して身につけた文法・語法力をランダム問題演習にて行うことにより、知識の定着と得点力アップを目指していく。
2. 英作文については、英訳から始まり、最終的には主張・根拠・例などを指定された語数で表現できるようにする。
3. 模試の過去問等を利用し更なる実践力を身につける。

IV. 学習上の留意点

1. 文法・語法の総復習については、「誤答ノート」を作成し、各生徒は自分の弱点や理解の薄い点を蓄積し、その振り返りをいつでもできるようにすること。
2. 授業や宿題、定期試験では文法・語法のランダムな出題なものを扱っていく。そのため、個々の文法項目などについては、スクランブルやリードB、白冊子等を利用して、自主的に復習をすること。

V. 定期試験

- 1学期 中間試験 : 文法・語法ランダム出題、授業で扱った英訳問題など
- 1学期 期末試験 : 文法・語法ランダム出題、授業で扱った英訳問題など
- 2学期 期末試験 : 文法・語法ランダム出題、授業で扱った英訳問題など

VI. 評価の方法

1. 定期試験、小テスト、授業への取り組みから総合的に評価する。スピーキングは評価に含まない。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	WP(Write to the Point) 1～2章 Exercise A	・小テスト ・定期テスト	・英訳の技術を高める。 (1～2文の英訳) ・文法、語法の定着をさらなる定着を図る。 (並べ替え問題、誤り指摘問題の完成)
	5	WP 3～4章 Exercise A		
	6	WP 5～7章 Exercise A		
	7	WP 8章 Exercise A		
		※週に1度は文法語法演習 ※週に1度はオンライン英会話		
二学期	9	WP 10～11章 Exercise A	・小テスト ・定期テスト	・英訳の技術を高める。 (1～2文の英訳) ・英作文の技術を習得する。 (意見の表明) ・文法、語法の定着をさらなる定着を図る。 (あらゆる出題形式での問題にも対応)
	10	WP 12～13章 Exercise A		
	11	WP 1～3章 Exercise B		
	12	WP 4～5章 Exercise B		
		※週に1度は文法語法演習 ※週に1度はオンライン英会話		
三学期	1	通常授業なし		・難関私大、国公立受験の個別演習
	2			
	3			

※ シラバスの内容(時間や事項)については、理解度やその他の都合により変更することもあります。